

(参考様式別紙)

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

| | | |
|-------|-----------------|-----------|
| 実施主体名 | 計画の名称 | (中間) 目標年度 |
| 上士幌町 | 上士幌町アイヌ施策推進地域計画 | 令和4年度 |

1. 目標の達成状況

| アイヌ施策推進地域計画における(中間)目標 | 目標値 A | 実績値 B | 達成率 (%) B / A | 備考 |
|-----------------------|-------|-------|------------------|----|
| イオルの森を利用した事業等における利用者数 | 50 | 21 | 42% | |

| アイヌ施策推進地域計画における(中間)目標 | 達成状況 | 備考 |
|-----------------------|--|----|
| イオルの森を利用した事業等における利用者数 | 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業を中止または縮小して実施しているため利用者数が目標に届かなかった。 | |

| |
|--|
| (コメント) 令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなると予測できるため、イオルの森をフィールドとした事業の展開が期待できる。上士幌町教育委員会主催事業や町内の学校での利活用を進め、目標達成を目指す。 |
|--|

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
|--|--------|
| ・空間活用事業(環境整備) | 上士幌町 |
| 事業の効果 | |
| ・イオルの森内遊歩道の草刈りを実施している。いつでも・だれでも・安心・安全に利用できる環境の整備ができています。 ・イオルの森がフィールドとして利活用できることによって、オッパイ山祭りやクチャ(狩り小屋)づくりを行うなど、アイヌ文化を体験して実感できる事業展開につながっている。 | |

3. 今後の方針等

(コメント)

- ・空間活用事業を継続して行い、イオルの森を安心・安全に活用できる環境とする。
- ・SDGs推進の観点から、学校授業での活用を促進するとともに、社会教育事業での更なる利活用を図る。